



11月の移住者交流会

秋のお散歩とお弁当会

日時 11月5日(日) 10:00~14:00
場所 中之郷 沢の小径、えこ・あぐりまーと
集合 えこ・あぐりまーと駐車場
会費 参加費無料 **申込み不要**
内容 八丈島エコツアーガイド協会 大類由里子さんのガイドで、自然豊かな癒しスポット沢の小径を散策します。その後、えこ・あぐりまーとでお弁当を食べながら交流会を行います。
 ●お弁当と水分補給の飲み物をご持参ください。
 ●お弁当タイムの飲み物は、えこ・あぐりまーとで注文できます。
 ●お弁当はコンパクトにまとめ、保冷剤などで食中毒予防をお願いします。
 ●観光バスが到着したら早めに撤収する場合があります。
 ●小雨決行。雨天の場合、11:00~14:00 大賀郷公民館和室でお弁当交流会を行います。

長野県人会 発足会

日時 11月25日(土) 19:00~21:30
場所 ピッツァパラディッソ(大賀郷4981-1)
会費 お酒を飲む方 5000円
 お酒を飲まない方 4000円
 ※お子様連れはご相談ください
概要 八丈島在住の長野県出身、または長野に縁のある皆様、ぜひご参加ください!**お申込みが必要です**。メールまたは、X(旧Twitter)のコメントかDMでお申し込みください。
お申込み専用アドレス ▶ event8jo@gmail.com
NPO法人八丈島移住定住促進協議会X(旧Twitter) ▶ @hachijoiu

9月の移住者交流会活動報告

第5回移住者交流スペース 9月2日(土)13:00~17:00
 底土港客船待合所3F交流フロアにて、移住者交流スペースを開催しました。今回のご参加は31名でしたが、途中から東京都の移住定住促進ツアー一行様(15名)が合流され、にぎやかな開催となりました。ツアーの皆様は先輩移住者の方々に様々な質問をしておられました。この模様は東京MXテレビで放送されました。
 移住者交流スペースは今後も開催してまいります。11月開催のお散歩&お弁当のような交流イベントも企画していきます。どうぞご期待ください!



みんなの流れてハ丈島



おたより大募集!

あなたの島ぐらしエピソードをたかまつやよい先生が漫画にします!おたよりは下記メールアドレス、または移住協のTwitter(@hachijoiu) DMへお寄せください!ラジオの投稿コーナーのような、先生と皆でこの漫画を作っていきます!よろしくお願ひします!



八丈島ぐらし通信 24

2023年9・10月合併号



特集1 | 男三人古民家島ぐらし

特集2 | 移住者が知らない八丈島

先輩移住者に聞く! 八丈島は園芸の島

今日の島ごはん

大興園 菊池國仁さんの 里芋と鯉の塩辛

島の大人たちの間では國仁さんの塩辛はとても有名です。冠婚葬祭の席に國仁さんがよく届けてくださったからです。残念ながらコロナから作らなくなってしまったそうです。作り方を教えていただいたのでぜひ作ってみてください。里芋のようげ(塩ゆで)につけて食べたら最高です!

【作り方】
 生姜、わけぎ(万能ねぎ)、みょうが、レモンの皮、島唐辛子をすべてみじん切りにして市販の鯉の塩辛に混ぜる。レモン果汁(かぶつ果汁)とみりんも加えて混ぜる。一晩寝かせて出来上がり。

ポイント 鯉の塩辛と他の材料の比率は1:1から1:2。みりんは1瓶160gの塩辛に大きじ1弱。



菊池國仁さん(中央)

【食べ方】濃いめに塩ゆでした里芋の皮を少し剥き、ちょっとだけかじってから塩辛をのせる。皮をつまんで押し出しながら食べる。



ダゲチさん(29歳)
神奈川県藤沢市出身

間瀬 颯一さん(25歳)
静岡県浜松市出身

大野 和真さん(24歳)
静岡県浜松市出身

八丈島へ移住した若者たちが独立・開業するためのテストケースとして、移住協が支援して、20代男子3人「八映団」の古民家島暮らしが今年4月にスタートしました。その暮らしぶりや今後の見通しを、代表して大野和真さんにお聞きしました。

八丈島へ移住したきっかけは何ですか？

元々島がいいなと思っていろいろ見ていて、八丈島の自然が気に入って一度見に来ました。役場に問い合わせたら移住協と繋げてくださって、持丸さんや大屋さんとお話したのが大きいです。

3人の関係は？

1人は地元の友達で、もう1人は国際協力のボランティア活動で知り合いました。

3人で島へ来て、一緒に同じことに取り組んでるのはなぜですか？

僕たちは仕事への価値観が比較的近いです。島へ来る時に、スローワークしたいねという話ではなく、仕事がんばりたいね、という文脈で島を選びました。仕事は社会に価値を生み出すポジティブで創造的な活動だと思っていて、3人とも仕事に対して前向きで、仕事が好きです。その仕事も売上を上げて儲けるだけでなく、困ってる人の役に立つ活動や世の中の課題を解決する仕事をしたいというのがベースになっていて、仕事に対する方向性や熱量がわりと近い感じです。

島は遅れている点がいろいろあり、若い自分たちが新しいことを創出できる余地があるイメージですか？

そうですね。この島の課題は大きくて、若い人が少なく高齢化が進んでいて、島民がどんどん減っていることは、若い人にチャンスが回ってきやすい環境だとは思っています。島は若い

人材が来たら嬉しいのかなと思うし、僕らもそのようなことに挑戦したいので、それはお互いに需要と供給がマッチしているのかなと。

それぞれ、メインの仕事はどんなことですか？

僕のメインは「八映団」(八丈島映像制作団)です。移住協の大屋さんに指導してもらいながら島内の様々な映像を制作しています。アテンドから撮影、動画編集まで何でもやります。他の2人はリードパークホテルで週3日ずつ働き、他の日に「八映団」の仕事や内地の企業のSNS運用などもしています。

半年やってみて、いかがですか？軌道に乗りそうな感触はありますか？

移住協やいろんな方々の助けがあって、良い方向に進んでいます。海で泳いだりして島暮らしもかなり楽しみましたが、最近はお陰様で仕事が忙しくて毎日仕事をしています。現在は6つの案件を同時にこなしていて、遊ぶ時間はミーティングに当ててますね。

今後の展開はどんなことを考えていますか？

1~2年は島民のために汗をかけた方がいいという顧問からの助言もあり、島のあちこちで草刈りしたり無料で映像を撮ったりしてますが、来年ぐらいからは自分たちで何かしら島に根付く事業を展開したいと思っています。島の活性化に携われるような、地場産業をやってみたい気持ちもあります。



皆さんが運営している20代のツアーについても教えてください。

2人は内地にいたときからU29コミュニティー(コースキャリア教育機構)の運営をしていました。社会課題の解決に興味があり、学生のキャリアや悩んでいる学生をどう変えていけるかに取り組んでいました。八丈島ツアーも何度か実施しています。29歳以下を対象に、八丈島で圧倒的な成長を期待する自己探求ツアーです。八丈島という非日常空間で、面白い大人に出会い、徹底的に自分と向き合う内容です。

【コースキャリア教育機構】

「U29が楽しく自己実現できる最高の環境を作る」をモットーに多くの若者が夢を叶えるために必要な環境を提供。国内最大級のアクティブな若者が集まるコミュニティーです。社会課題や教育課題の解消のため、これまでに多数の起業家が誕生しています。



- NPO法人八丈島移住定住促進協議会 副代表理事
- 東京諸島リビングサービス(株) 代表取締役社長
- みらい八丈(株)

持丸 沙代子

この度、八映団の皆さんが移住される際に、住居・車・仕事の準備をお手伝いさせていただきました。移住協は将来的に移住者の皆さんに、住居と仕事をセットで紹介できるような団体を目指しています。現在は島内の空き家活用が進んでないので実現出来ていませんが、空き家

活用が進んだ暁には、八丈島に移住をされる皆さまの、理想的な移住をお手伝いできるようにと考えています。

八丈島は若者、特に20代の人口が極端に少ないので、この度は八映団の皆さんにご協力をいただき、20代の方々の移住のモデルケースを作ろうとしています。八映団の皆さんは八丈島に移住してきてまだ半年ですが、現在島内の多方面で、様々なご活躍をなさっています。八丈島にスムーズに移住をして、八丈島で充実した生活を送っていただき、八丈島にも貢献していただける。そのような移住者と島民と島内事業者三方良しの移住のモデルケース、そして未来を作って参りたいと思います。

私はもともと若い人たちに対して、住まい/当面の仕事/職業訓練という3つの要素を用意することで、より具体的に移住を促進できるのではないか、という考えを持っていました。今回はそのテストケースとして、移住協のメンバーで相談しながら実現させたのが八映団のプロジェクトです。

職業柄、若者たちが想いだけで起業しても上手くいかないケースを多々見てきました。そこで、映像やデザイン、SNS運用などを中心に、今の時代においてすぐに仕事になりやすいスキルをまず身につけてもらっています。ある程度お金を稼げる状態になってから、どのようなビジネスをやっていくのかということを考えてほうが、より活動が発展的になります。



- NPO法人八丈島移住定住促進協議会 理事
- 株式会社FULL 代表 八映団顧問 映像/デザイン制作/経営コンサルティング

大屋友紀雄

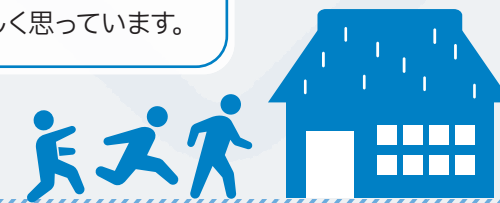
彼らからは何かを生み出していきたいという熱意が伝わってきました。とはいえ、彼らはまだ若く、スキルも経験もノウハウもありません。ですから、まずは八丈島にしっかりと根をおろして、2年ぐらいは島のために汗をかくという条件で、顧問を引き受けました。

現在、八丈島には映像デザイン制作、ひいてはプロモーションやマーケティング支援をできる人材がほとんどいません。島外から仕事を得られる状況を作り、得た資金、知見やノウハウを、島の発展のためにフィードバックしていければ一番良い形だと思っています。

築120年の古民家の大家さん
小原 テイ子さん(88歳)



町役場から移住協をご紹介いただきました。移住のお役に立てて嬉しく思っています。



先輩移住者に聞く！

— わたしたちの移住と定住 —



移住
18年
前崎 隆さん(53歳) 奄美大島出身
SPmarket / エアポート逸品会



移住
23年
池田 勝信さん(53歳) 千葉県出身
野菜ソムリエプロ、スーパーマーケット勤務

移住と定住の境目はどこでしょう？

八丈島へ移住して長く住み続けて定住する人もいれば、1、2年で離島してしまう人も一定数います。違いはどこにあるのでしょうか？八丈島に定住した移住の先輩たちに聞いてみました。

特産品の通販をやりたかった

内地で20年ぐらいサラリーマンをしてました。大きな会社で忙しすぎて疲れたのもあり、もういいかなと自分で区切りをつけたときに、一度旅行で来たことがある八丈島への移住を決めました。東京から近くて(出身の)奄美大島の雰囲気似ていたので。その頃、奄美はインターネット通販がすでにあり、八丈島では特産品の通販がほとんどなかったの、それをやろうと思ったのが最初の目的です。

ストレスのない暮らし

移住したときは、もっとのんびり暮らせればいいなと思ってましたが、企業を大きくすると都会と変わらない忙しさです。好きな釣りをする時間もありません。のんびりしたいだけの人は移住しても難しいですね。生活の基本を考えてしっかり計画を立てないと移住定住は続かないと思います。ただ、ストレスはないですね。島の企業は中小で人間関係がシンプルなので、都会ほどストレスがかからないと思います。それが一番ですね。

自力で人間関係をつくる

自分から人と関わられる人なら、付き合う相手を選びながら暮らしていけば、ストレスなく暮らせて定住できるのかなと思います。移住体験ツアーのようにずっと親切にもらえるわけではないので、移住して紹介してもらった人、親切にもらった人から派生させて、自分が好きな人、付き合いがたい人をどう選んで暮らしていくかで、移住で終わるか定住できるか決まるような気がします。

子育て世代に手厚く

島は日本の縮図といわれていて、高齢者が多く若い人が少ないから、島の人口を増やすためには、島で子育てする世代に手厚くすることが必要じゃないでしょうか。島婚のような婚活イベントをもっとやるとか、東京都なんだから18歳まで医療費無料とか、真剣に考えれば方策はいくらでもあると思います。

東京から逃げて八丈島へ移住

東京での人間関係や生活環境に疲弊してしまい、子供の頃に父親と釣りに来た八丈島が忘れられず、東京から逃げるように八丈島へ移住しました。島で暮らしてみても、ここでの暮らしが本当に自分には合うと感じて、その後はのびのびと暮らしています。都会の電車から見る一面が建物の景色は掴みどころがなく、自分の居場所がわからなくなる不安感がありました。八丈島では自分がここにいる実感をもって暮らしています。

失敗を恐れずチャレンジできる

八丈島では文化フェスティバルの司会を務めたり、様々なことにチャレンジしています。都会にはプロがたくさんいて自分の出る幕がないと感じていたことも、島ではみんなやるから失敗してもいいやと思える気軽さが後押ししてくれます。挑戦すれば達成感や爽快感が得られて心が生き生きしてくるのを感じます。

人口と東京へのアクセス

八丈島はそこそこ人口がいるのも良い点です。あまりにも小さなコミュニティでは流動性がなくて逃げ場なくなるとつらいかなと思います。東京へのアクセスも良くて、東京は世界へ繋がっているの、海外旅行を企画して友人家族と行ったこともあります。東京で暮らすのは向いてないけど、東京は自分にとって必要な場所でもあるので。

観光客を増やす努力

移住してもすぐに出ていく人もいるので、島暮らしが合う人合わない人ははっきり分かれるように思います。また、移住者それぞれに家庭の事情があり、ご両親が島外にいて介護が必要になったり、子供たちが島外に出ていったときに島にいる意味を考え直したり、一定数が出ていくのは止められないので、八丈島は観光客を増やす努力をするしかないと思いますね。その中に八丈島を気に入り、移住する人が必ずいますから。



移住
30年
松本 恭子さん(50歳) 茨城県出身
雑貨屋ラミ

リゾバで来て移住

バハマに行って島いいなと思ってリゾバで八丈島に来て、ギャップがあったのは砂浜が黒かったぐらいで、海に入れば中はきれいだし、何かを思い描いて八丈島に来たわけではないので、特に裏切られることもなく、そのまま結婚して住み続けています。朝、海に入って亀を見て、帰って仕事するみたいな日常が、人から見たらすごいねと言われてたり、八丈高校園芸科の販売で素敵なものが安く買えたり、プルメリアが路地で咲いていたり、そんな日常がいいのかなと。

雑貨屋を始めて20年

雑貨と手作り品、体験教室のお店を始めて20年になります。八丈島でお店をやるのは都会と比べて家賃が安く、それほどすごいプロじゃなくても始められます。ただ、その分、お客様の数が限られているし、厳しい面もあって、開店しては閉店していくお店も多いです。うちのお店が続けてこれたのは、販売だけでなく暇日は手作り品を作ってるからですね。子供たちが大きくなり、お店のお客が増えるまでは、アルバイトもしていました。

八丈島で咲くには

「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があります。八丈島に住んでいて、不便なこともあるし、嫌なこともあるけど、良いこともたくさんあります。夢を見るのは良いことだけど、ないものねだりになってもしようがない。友だちがほしいと思っても何もしなければできないし、自分から動いたらできるかもしれない。仕事では無理することもあるけど、無理しすぎないで生活していれば続けられるのかなと思っています。

心豊かに暮らせる島に

移住者を増やすためにいろんな地方で移住支援金を100万円とかやっていますが、それは本当に定住に繋がるのか疑問です。そんなことより暮らしているベースの人たちがもっと心豊かに暮らせていれば、それが魅力になって住んでみたいと移住する人も増えるのじゃないでしょうか。子育てに関しては、わたしはワンオペ育児だったので当時はしんどかったです。いまは子育てのサポートが良くなってきました。八丈島は保育園に入りやすいのも良いと思います。

今回は移住20年前後の男性2名女性2名にお話を聞きました。

ほぼ共通するキーワードは、「ストレスのない暮らし」「自然と便利さが共存する島」「チャレンジの可能性がある島」「期待しすぎず自分で動く」でした。図らずも同じようなことを考えておられて、これから移住される方や移住歴の浅い方のご参考になるお話だったと思います。ありがとうございました。



移住
25年
大類 由里子さん(50歳) 神奈川県横浜市出身
海と山の自然ガイド「椎」

移住してすぐ仲間ができた

きれいな海でダイビングがたくて、飛行機で行ける一番南の島なので八丈島へ来ました。出会った人たちが良くて、毎週BBQする仲間ができて、半年のつもりが楽しくて3年弱いました。その後一度沖縄へ住民票を移したのですが、八丈島が恋しくて半年もしないうちに八丈島へ戻りました。それからずっと八丈島に住んでます。誘われて海のガイドをしたらとても楽しくて、この島でこの仕事をやっていきたいと思ったのが定住の理由です。

ストレスがない暮らし

わたしは横浜が大好きで、都会が大好きで、都会で一生バリバリ働いて生きていこうと思ってたのですが、その頃は仕事をがんばりすぎてストレスを抱えていました。なんのためにこんなに働いているのだろう?と自問自答する日々。いまは島に住んで、仕事だか遊びだかわからない仕事をしていて、ほぼストレスがない暮らしをしています。

便利なのに自然豊かな島

八丈島はそれほど大きな島じゃないのに山が2つあり、湧き水があり、海も近いし東京も近い。都会にすぐ行けて、荷物もすぐ届くので不便を感じず、自然に入りたければすぐ行ける。こんなに便利で自然豊かな島はないなと思っています。八丈島は東京都なので環境整備が進んでるのも暮らしやすいポイントです。

自分で動く

暮らしてみても感じるのは、都会なら実現できない夢がここなら実現できる可能性が上がるということです。それは誰かに何かをしてもらうのを期待するのではなく、自分で動くことが大事です。最初は自分ひとりで走るしかないけど、続けていたらいつか認めてもらえます。

地域の暮らし方を知る

移住ブームですが、移住に大きな夢を描かず、その地域の暮らし方があるので、まずはそこに馴染むことが大事かなと思います。島の人たちが島のことを一番よくわかっているの、声高に発言する前に話を聞いて、厚意には甘えながら良いお付き合いができれば、島暮らしは苦しいものでなくなるはず。

八丈島は園芸の島

八丈島のフェニックス・ロベレー(ロベ)の生産が100年を迎えました。現在の八丈町の農業生産額は約20億円。うちロベをはじめとする切葉が約10億円で観葉植物が6億円です。ロベの出荷はここ数年右肩上がりです。1.5倍となっています。高齢化と後継者不足に悩みながら、まだまだ勢いのある八丈島の園芸を半世紀支えてきたお二人に、移住者が知らない八丈島の園芸について教えていただきました。



大興園 園芸家 園芸歴55年
菊池 國仁さん(75歳)
ロベ(切葉・鉢・苗)・ルスカス切葉・赤インチ鉢・造園用植木、他

のうちに下に植えた苗が育つので、順に入れ替わっていくのが合理的な育て方です。

ロベはどうやって育てるのですか？
ロベは種を撒いて苗として植えられ、5年かかります。大興園はロベ苗も販売しているので、一番多い年で15万鉢上げたけど、けっこう大変な仕事です。苗を植えてから5年かかると、合わせて10年かかります。

ロベで暮らしていくには何本持っていればいいですか？
1万本から2万本ですね。1万本で暮らしてる人もたくさんいます。1本から500円(収益が)上がれば、1万本で年収が500万円になるということ。
※ロベを1万本植えるには1500坪の農地が必要です。

現在のロベの切葉の価格はいくらですか？
20円ぐらいじゃないかな。

國仁さんはどのくらいの農地をお持ちですか？
3万坪ぐらい。半分は自分の土地で半分は借りています。自分が内地の農業研修を終えて島に戻ってきた頃は、ロベも鉢物も大暴落したときで、その頃の人はみんな苦労をした経験があります。それでも続けていたから大きくすることができた。八丈島の園芸家の中にはかなり稼いでいる人たちもいますよ。そのことは伝えたいね。

移住者が園芸を始めるにはどうしたらいいですか？
町の農業担い手育成研修センターに行くのが一番です。うちで働いて独立した人も6人いるけど、農家になるには研修センターを卒業した方が資金援助や融資の面で断然有利です。役場には土地の情報も集まります。

研修センターは狭き門と聞いてますが、落ちた人はどうしたらいいですか？
それも町に相談するのが一番です。町から頼まれてうちで面倒をみる場合もあります。



大輝園 園芸家 園芸歴54年
菊池 寛さん(74歳)
シェフレラ(カボック)・モンステラ・他、鉢物多数

寛さんの園芸の歴史を教えてください。
鉢物を50年以上やってます。八丈島の昔は園芸品が売れて売れて、儲かって笑いが止まらない時代もあったけど、わたしの頃はバブル崩壊でぜんぜん売れなくなり、極端に生産が減りました。廃業した人たちもいて、ロベの切葉は資本がかからないから、そちらに移る人が多かった。うちは親父が切葉をして、わたしが鉢に上げていた。ロベは葉っぱで稼いで鉢で稼げるから無駄がないんですよ。

現在は手広く鉢物をなさってますが、売れ行きはいかがですか？
コロナで急速に植物やペットなどの巣ごもり需要ができて、3年間はよく売れて儲かりました。もう4年になるから落ち着いてきたけど、コロナ前よりは売れてます。鹿児島や愛

知県あたりの大産地はコロナで大儲けしたけど、現在はやや停滞気味。需要と供給のバランスでだぶついている。八丈島には、ロベ・シェフレラ・モンステラなど、他の産地にない独特な品種があるから関係なく売れてます。売れてるのに高齢化で若い人が入ってきてないので品不足。だから人気があり、良い値段で売れてます。

売れてるのに生産者が少ないのはもったいないですね。
いまは高齢化でやる人が少ないから若い人にはチャンスです。生産量が少ないからやれば売れる。農協のロベの共選の売上も昔と比べたら島全体で極端に落ちてます。切葉は昔は7、8千万枚出荷されていた。いまは半分かそれ以下。だから逆に価格は安定している。若い人が参入すれば可能性があるのと思うね。わたしが若ければやるのと思いますよ。

若い生産者が増えないのはなぜですか？
若い人には切葉は地味で嫌なんじゃない？毎日毎日葉っぱを切るの地味すぎて嫌でしょう？だからわたしは葉っぱを切る機械を開発して導入するべきと提案してるんですよ。果物を選別する機械だってあるんだから技術的にできないことない。そんな機械が導入されれば若い生産者が増えますよ。

鉢物は大きなハウスが必要だから参入は難しそうですね。
鉢物はハウス、土地、土と、資本がかかるので、一から始めるのは大変です。だからなかなか参入できないけど、やる人もいますよ。最初は苦しいと思うけど、がんばってるから上手くいくんじゃないかな。やる気がある人ならできます。園芸は大変だけど夢がある仕事ですよ。



「大輝園」観葉植物ハウス見学会

日時 10月29日(日) 11:00集合(1時間程度)
場所 「歌楽男影(カラオケ)」前集合(大賀郷7992-4)ハウスまでご案内します

八重根の寺山団地近く、美容室Kuu向かいです

菊池寛さんの広大な観葉植物ハウスを見学しながら、植物の説明、売れ筋商品、八丈島の園芸の歴史などをお話いただけます。当日限り、持ち帰れる植物に限り、即売します！通常は個別対応しませんので、生産者の説明を聞きながら購入できる貴重な機会です。どうぞご参加ください。
※購入は現金のみ ※配達はしません ※時間厳守をお願いします

集合場所MAP

CHECK! 八丈町農業担い手育成研修センター第8期生募集中!

募集期間：令和5年8月25日(金)～令和5年10月31日(火) | 詳細はこちらをチェック
募集人員：1名 | 研修期間：令和6年4月から2～4年間 | <https://hachijo.info/info/?p=19029>